

会社情報

会社概要 (2022年3月31日現在)

社名	株式会社 ミューチュアル
会社設立	昭和24年(1949年)2月14日
資本金	6億6,970万円
URL	https://www.mutual.co.jp/
従業員数	(連結) 192名 (単体) 137名
事業内容	自動包装機械及び関連機器の設計・製作・輸出入販売 設備ライン化のための機械設計及び製作 機械器具設置工事 工業用ダイヤモンドの輸入販売

事業所 (2022年3月31日現在)

本社	〒530-0047 大阪市北区西天満一丁目2番5号 大阪JAビル9階 TEL.(06)6315-8613 FAX.(06)6315-8618
東京支店	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町二丁目11番 協友ビル7階 TEL.(03)5296-7071 FAX.(03)5296-0007
静岡営業所	〒420-0033 静岡市葵区昭和町10番6号 富士岡第1ビル3階 TEL.(054)255-4471 FAX.(054)255-4472
福岡営業所	〒811-3217 福岡県福津市中央二丁目23番14号 TEL.(0940)35-8123 FAX.(0940)35-8124
富山営業所	〒930-0083 富山市総曲輪一丁目5番24号 TAMURA BUILDING5階 TEL.(076)445-5257 FAX.(076)442-3338
大阪技術センター	〒595-0043 大阪府泉大津市清水町3番36号 TEL.(0725)21-1130 FAX.(0725)21-6970
東京技術センター	〒343-0822 埼玉県越谷市西方3129 TEL.(048)987-1751 FAX.(048)987-1752
関東工場	〒289-1144 千葉県八街市八街ろ55-125 TEL.(043)440-0530 FAX.(043)440-0531

役員 (2022年6月29日現在)

代表取締役社長	榎 本 洋
取締役 専務執行役員 営業企画室長 兼 人事部長	吉 野 尊 文
取締役 常務執行役員 西日本営業担当 兼 大阪営業部長	川 島 浩 二
取締役 (社外)	野 尻 恭
監査役 (常勤)	住 中 秀 和
監査役 (社外)	北 川 和 郎
監査役 (社外)	中 西 清
補欠監査役 (社外)	山 田 美 樹

グループ会社

株式会社ウイスト
三晴精機株式会社
日伊包装株式会社

証券コード:2773

MUTUAL

第78期報告書

自2021年4月1日 >>>>> 至2022年3月31日



PRESTA6000

ENGINEERING PROFESSIONAL

- ENGINEERING - MANUFACTURING - TRADING - MAINTENANCE

マネジメントメッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り、誠に有り難うございます。

新型コロナウイルス感染症により、お亡くなりになられた皆様に謹んでお悔みを申し上げますとともに、罹患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、医療関係者をはじめとする最前線で対応されている皆様に心より敬意を表します。



代表取締役社長
榎本 洋
名誉会長
三浦 隆

Q.1 **新型コロナウイルス感染症の影響も含め、得意先の投資動向など現況の経営環境につきましてお話しください。**

コロナ禍の影響などにより、前期（2021年3月期）は、当社グループの主要得意先の医薬品業界で、新たな設備投資への慎重な姿勢が見られたが、当期は回復傾向。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、感染拡大防止策などにより社会のあり様を大きく変化させてきましたが、最大のインパクトは、経済・産業界において先行きの不透明感を強めたことにあります。この結果、当社グループの主要得意先である医薬品業界では、前期において、既定の設備投資プロジェクトの縮小や凍結を進め、投資が一時的に停滞しておりました。また、近年力を入れている化粧品・食品業界などにおいても、先行きの不透明感による様子見が広がり、前期は、非常に厳しい環境にありました。

コロナ禍による期初受注残高の減少に伴い、計画値はほぼ達成したものの減収減益となる。

当期（2022年3月期）の業績は、前期における新型コロナウイルス感染症への対応や同感染症の影響による設備投資の停滞などにより、期初受注残高が激減し減収減益に終わるものの、来期（2023年3月期）は、受注残高が積み上がりV字回復を見込みます。

こうした中、当期は新型コロナウイルス感染症への対応も進み、経済・産業界の伸展も見えたことにより、設備投資が総じて回復してきております。しかしながら、ロシアのウクライナ侵攻による、更なる原材料価格の高騰や世界的な半導体不足など、経済・産業界を混乱・停滞させる要因は多岐に広がり、将来の見通しに左右される設備投資市場において安定的な取り引きを目指していくには、他には提供できない技術とともに、お客様との継続したコミュニケーションがより重要なものとなっております。

Q.2 **そうした中、当期の業績と来期の業績予想につきましてお話しください。**

当期業績は、期初受注残高が低水準であったことなどにより減収減益となったが、来期の業績については、受注残高が積み上がり、V字回復を見込む。

当社グループの業績につきましては、成約から納品・検収までに通常案件で6か月から12か月、大型案件であれば1年以上の期間を要することもあり、期初の受注残高が大きな影響を持っております。この期初受注残高が、前期において医薬品業界をはじめとする当社グループの得意先業界で設備投資計画が低調に推移したため、例年に比べ低水準で終わっております。この結果、半導体を組み込んだ電装部品の不足などによる納期の遅れなども加わり、売上高は、前期比16.5%減の9,418百万円となりました。また、利益面におきましても、原価低減の取り組みをさらに進めたものの、売上高の減少に加え、原材料の高騰などにより、経常利益が前期比36.0%減の831百万円、親会社株主に帰属する当期純利益も、前期比42.5%減の537百万円となりました。なお、1株当たりの配当金につきましては、前期と同額の普通配当25円とさせていただきました。

一方、来期の業績予想につきましては、当期、主要得意先業界で設備投資が回復傾向にあったことや新型コロナウイルス感染症への対策が進み、面会による商談が可能になってきたことなどにより、受注が好調に推移し過去10年における最大の期初受注残高を確保しております。この結果、来期の業績につきましては、V字回復を見込んでおります。

Q.3 **それでは、今後の注力していく取り組み・課題などをお聞かせください。**

不透明感、不確実性が広がる中、まずは足元を固めることが重要。

当社グループは、3つの基本路線の下で持続的成長を目指してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による海外マーケットの状況を鑑み、ここ暫くの間は国内市場に集中してまいります。当社グループの主要得意先であります医薬品業界の設備投資市場は、前期に設備投資を抑制した結果や、ジェネリック医薬品業界での不祥事による生産先の移管等に伴い新たな設備投資が必要になるなど、ここ1年、好調に推移しておりますが、中長期的視点で見れば成熟市場であり競合関係は激化しております。また、新規マーケットの開拓においても、既存事業者に対する差別化は不可欠なものとなっております。このように国内市場における深耕・拡大を目指していくためには、競争優位性の確保が必須であり、当社グループにしか提供することのできない自社製品及び海外商材のラインナップの強化、さらには、創業当時からの強みであるエンジニアリング能力の強化に取り組んでまいります。

一方、展開する戦略・取り組みを実案件に結び付け、売上を上げていくには、部品調達等のサプライチェーン全体の管理が重要となります。特に現在は、電装部品不足が起こるなど、安定的に機器を収められる体制づくりが不可欠となっております。また、原材料費が高騰する中、適正な利潤確保に向けて納入価格などをお客様と話し合っていくことも必要です。これら事業運営・管理をより確かにしていくためには、人材のレベルアップ・活性化、優秀な人材の確保が必要であり、まずは、人材マネジメントを強化し、全ての取り組み、施策展開の足元を固めてまいります。

Q.4 **最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。**

人を大切に、コミュニケーションを深め、社内改革を進めることで、高付加価値型企業の土台を創る。

昨年4月に人材活性化／適正評価のために導入いたしました「ジョブ・ディスクリプション制度」につきましては、残念ながら社内に定着したとは言えない状況です。同制度への理解が社内全体に浸透していないのがその要因となっております。

新型コロナウイルス感染がもたらしたニューノーマルな社会、テレワーク、DX、オンラインへのシフトなどが起こり益々"個人"が強調される時代になってきております。しかしながら、当社グループは、"個人"をサポートしながらも、人と人のコミュニケーションを大切にし、全員で目指すべき価値を共有していくことを目指します。

当期は、エンジニアリング業務で30億円超に上る大型案件を受注しております。これまでに進めてまいりました新たなマーケットの開拓で大きな成果を生み出しておりますが、これを単発的な案件にせず、マーケットの開拓につなげていくには、この成功体験を広く社内にもコミュニケーションしていくことが重要です。当社グループは、人を大切にしながら社内のコミュニケーションを深め、また、お客様をはじめとする社外との円滑なコミュニケーションを整え、どのような環境下にあっても適切な利益を生み出せる高付加価値型企業としての土台を創り出してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

※三浦隆氏は、2022年6月29日開催の第78回定時株主総会をもって代表取締役会長兼CEOを退任し、名誉会長に就任いたしました。

業績ハイライト

財務ハイライト

		2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3
売 上 高	連 結	8,350	11,066	11,847	11,286	9,418
営 業 利 益	連 結	369	1,005	1,233	1,247	774
経 常 利 益	連 結	472	1,034	1,253	1,299	831
親会社株主に帰属する当期純利益	連 結	224	589	760	935	537
総 資 産	連 結	13,331	15,004	15,632	15,426	16,745
純 資 産	連 結	8,846	9,170	9,786	10,764	11,158
発行済株式総数(千株)	単 体	7,620	7,620	7,620	7,620	7,620

単位: 百万円

セグメント情報

	2021/3	2022/3	
	金額	金額	前期比
産業用機械事業	10,878	8,972	82.5%
医薬品	7,614	6,162	80.9%
化粧品	1,818	1,338	73.6%
食品	553	767	138.7%
その他	891	704	79.0%
工業用ダイヤモンド事業	407	446	109.5%
合計	11,286	9,418	83.5%

単位: 百万円

株式の状況 (2022年3月31日現在)

株式基本情報

発行可能株式総数	17,000,000株
発行済株式の総数 (うち自己株式数)	7,620,320株 (1,168,558株)
株主数	7,797名

大株主

	持株数	持株比率
有限会社エム・ティ・シー開発	393 千株	6.1 %
MTC社員持株会	322 千株	5.0 %
株式会社三井住友銀行	322 千株	5.0 %
ミューチュアル取引先持株会	304 千株	4.7 %
株式会社三菱UFJ銀行	264 千株	4.1 %
三浦 隆	205 千株	3.2 %
三浦 雅子	199 千株	3.1 %
豊田 容梨子	174 千株	2.7 %
森崎 真規子	173 千株	2.7 %
光通信株式会社	129 千株	2.0 %

所有者別株主分布状況

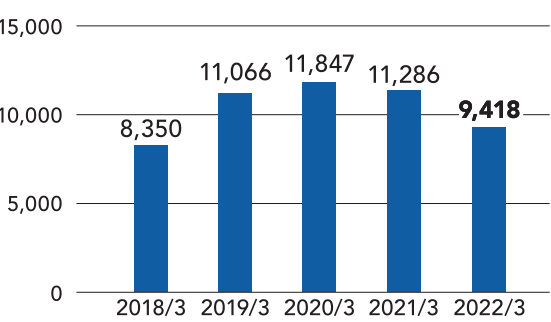


所有者別株式分布状況

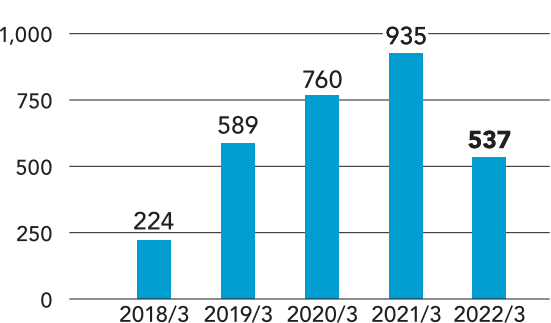


(注) 株主数及び持株比率は自己株式を控除して計算しております。

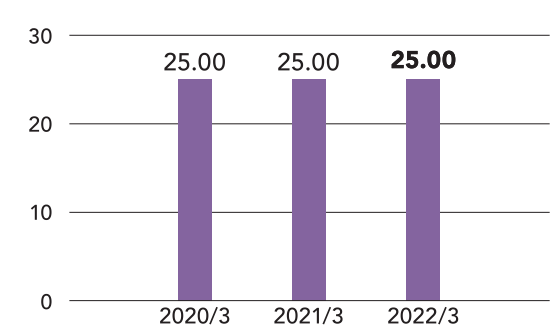
■売上高 単位: 百万円



■親会社株主に帰属する当期純利益 単位: 百万円



■1株当たり配当金 単位: 円



期待の製品群

製品ラインナップを強化・拡充し、お客様のニーズに応える

ネスト式シリンジ・バイアル充填打栓機 CONSFIDA

世界最小、設置場所を選ばないコンパクト設計の充填打栓機です。ネスト式のシリンジ及びバイアル両方に対応、且つ、液体及び粉体の充填から打栓が可能なオールインワン機であり、治験薬製造や少量生産に最適です。お客様のご要望に基づき、シリンジ・バイアルいずれかの用途に応じて充填打栓ユニットを交換できる脱着式モデルを開発、近日上市予定です。



PTP包装機 PRESTAシリーズ

当社の主力商品のひとつのPTP包装機です。PRESTAシリーズの最大の特長は、完全部分加熱成形方式で、平板成形方式が主流な中、更に利便性の向上を追求すべく完成させた成形の方式です。この方式は、省電力でフィルムロスがなく、バイオマスフィルムにも対応するなど、昨今の環境面にも大変優れており、医薬品業界における省エネ、省フィルムなどSDGsに大いに寄与できる機械となっております。



カートナー P.MM

医薬品、化粧品、食品業界など、世界で千数百台稼働しているベストセラー機でコンパクト、静かな運転、紙質を選ばない小箱詰め機（カートナー）です。展示会FOOMA JAPAN 2022（国際食品工業展）では、環境への貢献も視野に入れ、樹脂由来の糊を使わず、且つ、改ざん防止も可能なカートンを使ったカートナーを発表・提案しました。



錠剤・カプセル外観検査機 PLANET

錠剤又はカプセルの文字（印刷、刻印）を文字単位で検査判別可能、また、異形錠も交換部品不要で検査が可能な外観検査機です。全ての機能を大型タッチパネルに集約、面倒な初期設定も簡単に登録ができ、また、交換部品も僅か3点とオペレータに優しい機械です。



トピックス

バイオフィーマージャパン bioLIVE Japan 2022 に出展

昨年代理店契約を結んだイギリス・Micropore社の膜乳化装置を出展、また、会期中に「m-RNAが呼ぶ製薬技術革命（LNP製造技術）」と題したセミナー講演を開催しました。膜乳化の原理を利用し製造されるものとして、乳液といった化粧品分野、また、農業といった農業分野などヨーロッパ各国では身近なところで活用されていますが、現在最も身近なものは、新型コロナウイルス予防のm-RNAワクチン製造に利用されています。セミナーには多数ご来場、熱心にメモを取られており、また、装置の後段には治験用充填機も必要となるため、当社製CONSFIDAを同時提案していく予定で、更なる市場開拓に注力してまいります。



株主優待制度の廃止に関するお知らせ

当社は、昨今の経営環境を考慮しながら、慎重に検討を重ねた結果、今後は配当による利益還元を優先することとし、株主優待制度の廃止を2021年8月6日開催の取締役会で決議いたしました。この決議に基づき、現在は株主優待制度を実施しておりません。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
期末配当金の受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金の受領株主確定日	毎年9月30日
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL. 0120-094-777（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のインターネットで24時間承っております。 インターネットホームページ https://www.tr.mufg.jp/daikou/ ※上記取次所においては、特別口座に記録された株式についてのみお取扱いしております。特別口座以外で株式を管理されている株主様は、口座を管理されている各証券会社経由でお願いします。

【重要な後発事象】

当社は、2022年5月20日開催の取締役会において、以下のとおり、株式会社エムズ（以下「公開買付者」といいます。）による当社の普通株式（以下「当社株式」といいます。）に対する公開買付け（以下「本公開買付け」といいます。）に関して、本公開買付けに[賛同]の意見を表明するとともに、当社株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を[推奨]する旨の決議をいたしました。
なお、上記取締役会決議は、公開買付者が本公開買付け及びその後に予定されている一連の手続きを経て、当社を公開買付者の完全子会社とすることを企図していること、並びに当社株式が上場廃止となる予定であることを前提として行われたものです。